

# 熱測定技術研究会「微小スケールでの熱測定技術」

主催 大阪大学大学院理学研究科 附属構造熱科学研究センター

熱力学測定は、物質の安定性や性質の変化をエネルギー、エントロピーを通して定量的に評価する手法として重要です。相転移の検出、励起構造の評価などを通して相挙動を調べるとともに、熱力学量の変化を分子や原子の内部自由度として結びつけて理解していくことが出来るため、基礎科学研究には欠くことのできない手法になります。一方で、物質を形成する原子・分子の科学は近年、大きく進展し、その対象は一分子・少数分子系、ナノ構造体、極微量試料を用いた研究の展開が求められています。このようなナノ、ミクロのレベルでの熱測定には様々な新しい技術が必要とされます。本研究会では、主として熱的な測定の開発にたずさわってこられた講演者に、手法開発、技術面からの切り口でご講演頂き、測定のノウハウや、その手法がもたらすサイエンスについてもご講演を頂きます。熱測定のマイクロ化をキーワードに、専門外の方にも興味を持てるようにお話しを頂きます。是非、多くの皆さまにご参加頂ければ幸いに存じます。

日時：2018年4月26日（木）

13:30 - 17:00

場所：理学研究科 J棟 2F 南部陽一郎ホール

## プログラム

- |             |  |           |
|-------------|--|-----------|
| 13:30       | はじめに   |           |
| 13:40-14:30 | 大阪大学 産業科学研究所 筒井真楠<br>「1分子熱電測定」                 |           |
| 14:30-15:20 | アドバンス理工（株） 池内賢朗<br>「熱電材料・モジュール評価における計測技術」      |           |
| 休憩          |  |           |
| 15:40-16:30 | （株）日立ハイテクサイエンス 岩佐真行<br>「温度可変型プローブ顕微鏡を用いた局所熱物性」 |           |
| 16:30-17:00 | 大阪大学 構造熱科学研究センター 中澤康浩<br>「極微単結晶を用いた熱容量測定の展開」   |           |
| 17:30       | 懇親会（G103）                                      | （講演者 敬称略） |

問い合わせ先 構造熱科学研究センター